

会 議 録

会議の名称	第2回飯塚市男女共同参画推進委員会
開催日時	平成28年10月12日(水) 14:00~17:00
開催場所	飯塚市男女共同参画推進センター 3階 技能向上室
出席委員	吉柳順一委員、妻鳥幸子委員、高橋笑子委員、佐藤祐子委員、 白瀧登美子委員、森本智賀子委員、前田美紀委員、梅野政則委員 小山治代委員
欠席委員	萬田喜利委員、久原千景委員、山下弘美委員 久田幸子委員、畠中和好委員、
事務局職員	男女共同参画推進課長、企画担当主査
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 【議題】(1) 第2次飯塚市男女共同参画プラン(素案)について <事務局より説明></p> <p>Q: 38ページの第3章重点目標2働く場における女性の活躍推進の中の「多様で柔軟な働き方」というのは、13ページとの整合性から削除した方が良いのでは。</p> <p>A: 整合性はとれている。修正した方が良いということであれば修正する。</p> <p>Q: 2、3ページ市民意識調査、回収率32%は少なすぎる。市民でこれだけの数なら市職員全員にした方がいいのでは。</p> <p>A: 統計的には成り立つ。分析ができる。</p> <p>A: 市職員に対しての意識調査はしていない。</p> <p>Q: 文章の中に男性の長時間労働というのが多い。市職員で12時頃まで残業している人もいる、女性でも。徹夜も。時間内に収まるような仕事内容に変えたらどうか。ひどすぎる。</p> <p>A: 長時間労働の抑制も課題。行政内部でも努力しないとイケない。</p> <p>Q: 62ページの施策項目③、④の参加と参画の違いをどう捉えるのか。国の法律が参加になっていても参画促進にできるように持って行ってほしい。全ての人が参画していけるような施策に。</p> <p>Q: (男女間格差を是正するという内容を) 具体的にあげた方がいいという意見は分かるが、「多様で柔軟な働き方ができる環境整備」という中にそういう意味合いも含まれているのかなと思う。このままでもいい。</p> <p>Q: 多様で柔軟な働き方の意味合いが取れない。ワーク・ライフ・バランスの実現と男女間格差を是正するという骨格を事業所の取り組みとして促進していく必要があるのではないか。基本的な整合性を付けて欲しい。13Pとの整合性は?</p>

Q：多様で柔軟な働き方というのが、女性の個性を伸ばすという意味が含まれていないのではということか。男性と同じように女性の能力を発揮できるようにということ言われたいのか。

Q：そうではなく。現実として男性と女性の格差はある。事業所がポジティブ・アクションを促進する必要性の中で骨格を据えていった方がよい。多様で柔軟というのをどう捉えるのか。

Q：自分がパートタイムをしたい、非正規を選ぶ、と思ったらそれが柔軟な働き方。それでは足りないものがあると言われていたのではないかと感じた。それを男女間格差を無くす環境整備の後に加えるのかと思った。働き方だけではなく女性の個性を伸ばして男女間格差を無くす扱いを事業所にしてほしいということではないのか。

Q：多様で柔軟な働き方ができる環境整備というのが一つあって、男女間格差を是正するというアクションも取り組んで行ったらいいのではという捉え方か。

A：多様で柔軟な働き方という言葉に引っかかっているのは、おそらく何かしらマイナスイメージがあるのでは。本来、多様で柔軟な働き方という言葉自体には全くマイナスイメージは無い。いろんな働き方が出来て良いという話。今の多様で柔軟な働き方の中には、非正規ということで就業条件に男性との格差が見られるものがあるということが問題。多様で柔軟な働き方が出来たうえで、同一労働同一賃金の原則が守られれば済むこと。多様で柔軟な働き方自体を広げていくことに何の問題もない。そこは分けるべき。

Q：結局、多様で柔軟な働き方ができるということと男女間格差を是正する事業所の取り組みを促進するということか。

Q：多様で柔軟な働き方でいいのでは。

A：多様で柔軟な働き方というのはプラスの働き方。白瀧委員は、働く側の多様性ではなく企業側の多様性なども心配されている。多様で柔軟な働き方というのがあって、男女間格差はないということをして続けて記載することによってお互いの立場からも整理できるのではという意見。

A：企業側から多様で柔軟な働き方というとそれは問題が出てくるケースがある。ここでは働く側の多様で柔軟な働き方という話なので、そこはちょっと違う。今の記述で誤解を生じるという意見が多数であれば文言を見直す必要があるかもしれない。

Q：文言を整理するとしたらどうなるのか。

A：それは少し考えないといけない。少なくとも作成過程において、企業側からいった多様で柔軟な働き方という意味合いは含めていない。今までの議論もそういう話で、きていたはず。

A : 働く側からみた多様性という事で記述をしている。男女間格差のない事業所を作っていくという記述が可能であれば。整理するという事

Q : それで構わない。13 ページとの整合性をつけるということで考えて頂ければ。

Q : 16 ページの「ワーク・ライフ・バランスの実践」という言葉があるが、ワーク・ライフ・バランスの言葉の説明は 45 ページに「状態を指します」とある。その 8 行目には実現という言葉が使われている。実践と実現の統一をした方がいい。状態なので実現では。

A : 言葉についてはもう一度見直して担当課の方にも確認して頂く。ワーク・ライフ・バランスについては「実現」に統一する。65 ページも「安心して出産できる」に変更したい。

Q : 65 ページは「安全・安心に出産」、70 ページは「安心して」となっている、「安心に出産できる」に。20 ページのグラフの四角（凡例）の枠を大きくしてほしい。グラフの下の資料：市民意識調査結果となっているが他のグラフは何年となっている、いつしたのかを示してほしい。

A : できるだけ分かりやすい方向に努力はする。年度についても 2、3 ページにまとめて書いているが、ページにあった方がいいのであれば検討する。

Q : 分かりやすいように配慮頂きたい。

Q : 71 ページの施策項目⑤の取組内容の黒丸の 3 番目「女性自ら」という言葉に引っかかった。女性側だけが適切な判断を行えばいいのか、男性側は必要ないのか、と感じる。

A : 後期計画の項目をそのまま載せている。男性の視点まで検討していなかった。

A : 女性自らが意思表示をできるということが大きな目的となっている。言葉足らずで誤解、懸念があるようであれば検討する必要があると考える。

A : 45 ページ、ワーク・ライフ・バランスの推進の最後の文章、日本語としては少し問題があるので、「事業所への理解促進が必要です」の理解促進を啓発に変えてはどうか。16 ページ、基本目標 3 枠内の「市、市民、事業者等により協働のもと」というのを外し、「男女がともに家庭生活や地域活動に主体的に参画し、健康で、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。」とするとすっきりする。「市、市民、事業者等による協働」は基本目標 1、2 にもかかってくる話なので 3 だけに入れるのいいのかどうかと思った。

Q : 広い意味で書いてあるならこれでいい。

Q : 「市、市民、事業者等により協働のもと」は削除するのか。
A : 削除した方がいいと思うが、残すのであれば「市、市民、事業者等の協働により」に直した方がすっきり読める。「健康で」は後ろに回した方がいい。

Q : 「～事業者等の協働により、健康で、」というのは事業者がどう関わるのか疑問。
A : そういう問題もあるので取った方がいいというのが最初の意見。ただ、事業者、職場も含めて長時間労働を削減するなど働き方を変えることによって健康増進につながる部分は無きにしも非ずなので、それも含めて考えればあってもいいのかなとも思う。

Q : 削除した方がいい。すっきりするのでは。
A : なるべく今ある文面は残す方向で、事務局で整理する。

(2) 飯塚市男女共同参画プラン（後期計画）平成 27 年度進捗状況報告書について

【事務局より資料の見方について説明】

Q : 質問等あれば次回の委員会で審議するのか。
A : 27、28 年度まで進行管理をしていかないといけない。評価についてこれが妥当かどうか、意見、質問があれば担当課の方に確認したい。今後のスケジュールは推進委員会が 5 回の予定、年度末に提言。進行管理の質問に対しての審議まではいかないが、担当課に投げて回答したいと考えている。

Q : 議論の場はないのか。
A : 今年度は次のプランにつなぐということが進行管理の形になった。ヒアリングも終わっている。今のプランについてどういう成果が出たのか確認しなくてはならない。今年度については議論よりも、どういう視点でやったのかという質問があれば、所管課に確認をするという形にさせて頂きたい。

Q : 議論する時間はないということ。事務局が所管課に確認をして回答するという事。本来ならば推進委員会の中で確認すべき。
A : 提言書を作成するにあたっては進行管理が基になると思う。本来なら議論をして頂くべきだと考えている。時間を取って議論をすべきであれば限られた回数の中でさせて頂く。

Q : 回数は増やせないが時間なら調整がつく。必要であればどこかの推進委員会で時間を作って頂いて説明して頂いたら良いのでは。その点についてみなさんの意見を聞きたい。
Q : 疑問点を出して事務局から回答してもらえればよい。
A : 質問を出して回答してもらえればよいという意見。よろしいですか。

	<p>Q：これがあって次に繋ぐと思うので全部の説明は無理だと思うが、大きなところ、次の年度に取り上げているところを教えてください。つながりが少し見えるのでは。</p> <p>A：具体的な取り組みについては殆ど新プランに移行、継続している。内容を見て頂いて質問を頂いた方が状況を確認できると思う。</p> <p>A：質問に対する回答は推進委員会で報告して頂く。</p> <p>A：12月の1か月を目途に市民意見募集をする。11月末までに質問、意見を頂きたい。</p> <p>A：11月末までに質問、意見は事務局の方に。</p> <p>(3) 平成27年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書について 【事務局より説明】 質問、意見なし</p> <p>3. その他 【事務局より資料4について説明】 ワーク・ライフ・バランスのセミナーの日程 11/24、12/21、セミナー室 18:30～ 素案の修正後、各委員に送付 質問、意見なし</p>
会議資料	<p>① 次第</p> <p>② 資料1 (仮称) 第2次飯塚市男女共同参画プラン (素案)</p> <p>③ 資料1-1 第2次飯塚市男女共同参画プラン策定経過</p> <p>④ 資料2 飯塚市男女共同参画プラン (後期計画) 平成27年度進捗状況報告書</p> <p>⑥ 資料2-1 飯塚市男女共同参画プラン (後期計画) 進捗状況報告書の記載内容について</p> <p>⑦ 資料3 平成27年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書について</p> <p>⑧ 資料4 飯塚市女性の労働状況に関する事業所調査結果報告書</p>
公開・非公開の別	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者1人)</p>
その他	